

ドリームガールズ (Dreamgirls)

観賞日 2023年12月11日 上映時間 131分

【概要】

制作 2006年 アメリカ

監督・脚本 ビル・コンドン

音楽 ヘンリー・クリーガー

撮影 トビアス・シュリッスラー

出演 ジェイミー・フォックス (カーティス・テイラー・Jr)

ビヨンセ・ノウルズ (ディーナ・ジョーンズ)、エディ・マーフィ (ジミー・アーリー)

ジェニファー・ハドソン (エフィ・ホワイト)



【あらすじ】

1960年頃、自動車産業の町デトロイト。この町で生まれた女性三人組、ディーナ、エフィ、ローレルのドリーメッツはジミー・アーリーのバック・コーラスを任される。それを決めたカーティス・テイラー・Jrは彼女らのマネジャーにおさまる。カーティスは中古車販売の仕事をやめて音楽の仕事に専念する。ようやく、芽が出始めたドリーメッツはジミーから独立して、ザ・ドリームズと改名、リードヴォーカルはエフィからディーナに変更される。その戦略が当たりザ・ドリームズの人気はうなぎ上り、リードのディーナは一気にスターダムを駆け上る。しかし、面白くないのは、リードを外されたあげく、カーティスの愛をも失ったエフィ。トラブルメーカーとなったエフィはメンバーから外され、スーパースターとなったディーナはカーティスと結婚する。しかし、その後巨大化したカーティス帝国のほころびが始まる。方針を巡ってジミーがカーティスと決別し、死亡する。エフィの兄、CCもカーティスのもとを去りエフィのために曲を作る。カーティスはその曲を横取りしディーナに歌わせようとするが・・・。

アメリカのポピュラー音楽界に革命をもたらしたモータウン。文字通りドリームガールズとなったザ・スプリームズの光と影。大ヒットミュージカルの映画化。

【解説】

■ポイント

●モータウン

- ・1959年にデトロイト生まれの黒人実業家ベリー・ゴードン・ジュニアが設立したレコード会社。当時、デトロイトは自動車産業のメッカでありモーター・タウンと呼ばれていた。
- ・1960年代は公民権運動が盛んになった時代であり、モータウンもこの時期に全盛期を迎えた。

●ザ・スプリームズ(1959年結成・1977年解散)

- ・アメリカの黒人女性ボーカルグループ

1961年時のメンバー：ダイアナ・ロス、メアリー・ウィルソン

フローレンス・バラード(67年解任・後任シンディ・バードソング)

1967年：ダイアナ・ロスとスプリームズに改名(69年にダイアナ・ロスが独立)

●受賞(2007年第79回アカデミー賞)

5部門にノミネートされ2部門で受賞

助演女優賞(ジェニファー・ハドソン)、音響編集賞

■見どころ

- 当時のアメリカのショービジネスの光と影
- ジェニファー・ハドソンの圧倒的な声量